

令和5年度行政事業レビューシート		(デジタル庁)					
事業名	自治体等共用SaaS			担当部署	デジタル社会共通機能グループ	作成責任者	
事業開始年度	令和4年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	ID認証・マイナンバー	参事官 渋谷 弘一	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	デジタル庁設置法第4条			関係する 計画、通知等	-		
政策	-			主要経費	その他の事項経費		
施策	-						
政策体系・評価書URL	-						
事業の目的 (5行程度以内)	本事業は、国が構築する給付SaaSの活用を促進することで、自治体毎にシステム対応を行うことを不要し、迅速な給付を実現することを目的とする。						
現状・課題 (5行程度以内)	コロナの経験により、抜本的なデジタル化の必要性が明らかになり、特別定額給付金や持続化給付金などの各種給付金の事務処理において、給付の意思確認や口座の確認等に時間を要するなどの課題が把握された。 給付金の申請受付や意思確認のフローが完全にデジタル化されていないことや自治体ごとに個別にシステム対応を行うなど、給付に時間や費用を要するといった課題がある。						
事業概要 (5行程度以内)	本事業は、令和4年度から5年度にかけて実施した実証検証を踏まえ、本番環境を構築(令和6年度から実施を想定)する事業である。						
事業概要URL	-						
実施方法	委託・請負						
補助率等	-						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
		補正予算(B)	-	-	-	-	-
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
		予備費等(E)	-	-	-	-	-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	-	-	-	-
		執行額(G)	-	-	312	-	-
執行率(%) =(G)/(F)	-	-	-	-	-		
当初予算+補正予算に対する執行額 の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	-	-	-	-		
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
					-		
	計(A)		-	-			

活動内容① (アクティビティ)		マイナンバーを活用した給付事務の電子化を目的としており、本番稼働のため、調査研究の実施などにより、当該システムの運用がより効率的なものとなるよう 所要の検討を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		申請・通知のデジタル完結による給付の効率 化 プッシュ型に近い給付による迅速な給付の実 現	計画停止や災害による停止を除く給 付SaaSシステムの稼働率 ※実証段階であるため暫定的な稼 働率	活動実績	稼働率	-	-	-	99.9	-
				当初見込み	同上	-	-	-	-	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		システムの安定稼働を前提に、給付事務の電子化を充実させ、給付SaaSシステム導入自治体数として設定した。 ※実証段階であるため暫定的な設定								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		実際の事務で給付SaaSを使用し、給 付事務を行う自治体数を増やす。	給付SaaSシステム導入自治 体数(実証検証自治体も含 む。)	成果実績	自治体数	-	-	-	2	
				目標値	同上	-	-	-	2	
				達成度	%	-	-	-	100	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		実証検証において、2つの自治体で給付SaaSを使用して給付事務を行う予定である。								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
成果目標及び成果実績 ①-2 (中期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 年度	
				成果実績						
				目標値						
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績										
↓		成果目標①-3の 設定理由 (長期アウトカム へのつながり)								
		システムの安定稼働を前提に、給付事務の電子化を充実させ、給付SaaSシステム導入自治体数として設定した。 ※実証段階であるため暫定的な設定								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 年度	
		実際の事務で給付SaaSを使用し、給 付事務を行う自治体数を増やす。	給付SaaSシステム導入自治 体数(実証検証自治体も含 む。)	成果実績	自治体数	-	-	-	2	
				目標値	同上	-	-	-	2	
				達成度	%	-	-	-	100	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		実証検証において、2つの自治体で給付SaaSを使用して給付事務を行う予定である。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

令和4年度																				
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	<pre> graph TD A[デジタル庁] --> B[民間企業等] </pre>																			
	費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載																			
<input type="checkbox"/> チェック																				

支出先上位10者リスト

支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載																		
<input type="checkbox"/> チェック																		